



公共政策大学院院生協議会シンポジウム『自治体議会のこれから』の開催

開催概要：「議員の定数・報酬問題」から見る、今後の自治体議会の役割・あり方

北海道大学公共政策大学院では、毎年学生によるシンポジウムを開催しています。本年は、近年加速する地方分権の流れに鑑み、地方議会をテーマに据えてシンポジウムを開催します。

地方議会において「議会・議員不信」の状況が深刻さを増す一方で、一部の自治体では「議会基本条例」の制定をはじめとした議会改革の進展が見られます。そうした状況の中、平成 23 年の地方自治法改正により議員定数上限が撤廃されたことで、自治体議会は自らの議会の形を自由に選択できるようになりました。そこで、本シンポジウムでは議会関係者や学生を主なターゲットとして、「自治体議会の定数・報酬問題」を切り口に、二代表制の一翼を担う自治体議会の役割・あり方を問い、自治体議会改革の議論に一石を投じることを目的とします。

日時：2012年12月15日（土） 13:30～17:30（13:00開場）

場所：北海道大学理学部 5号館 203教室（札幌市北区北10条西8丁目） ※JR札幌駅より徒歩10分

企画：北海道大学公共政策大学院 院生協議会シンポジウム委員会

共催：北海道大学公共政策大学院

後援：北海道議会・北海道市議会議長会・北海道町村議会議長会・札幌市・札幌市議会

参加対象：議員・学生・市民

参加費：無料 言語：日本語

申込：要事前申し込み（12/8締切）

WEB申し込み先：<http://p.tl/CwZR->

プログラム

- | | | |
|-----|--------------------|--|
| 第1部 | <u>基調講演</u> | 講師：金井 利之 教授（東京大学大学院法学政治学研究科教授） 演題：仕事としての自治体議員 |
| 第2部 | <u>院生発表</u> | 北海道大学公共政策大学院院生 |
| 第3部 | <u>パネルディスカッション</u> | |
| | （パネリスト） | 金井 利之 教授（東京大学大学院法学政治学研究科教授） 土屋 隆 氏（福島県会津若松市議会議員） 広瀬 重雄 氏（北海道芽室町議会議長） 他 院生 2名 |
| | （コーディネーター） | 山崎 幹根 教授（北海道大学公共政策大学院副院長） |

お問い合わせ先

<報道機関の方のお問い合わせ先>

北海道大学公共政策大学院 院生協議会シンポジウム委員会（担当：中村）

E-mail: hops-symposium2012@hops.hokudai.ac.jp

<一般の方のお問い合わせ先>

北海道大学法学研究科・法学部庶務担当 TEL：011-706-3074（9:00～17:00 土日祝除く）